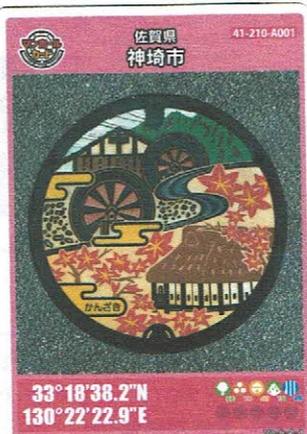


147 長崎郵趣

2018. 7. 15

佐賀県 神埼市 第4弾 2017.4.3 導入



デザインの由来

設置開始 1996年 九年庵

神埼中に誇りの昔、60基の水車群がありました。豊かに流れる城原川の力で稼働し、神埼まちめぐるの穀物や精米などに使われました。城原川は佐賀平野の豊富な農業用水および生活用水の源であり、また、市民の遊び・学び・憩いの場にもなっています。本デザインは、当時の水車群を復元した「水車の里」と「城原川」、その手前に「九年庵」を配画し、背景に日本二百名山の1つ「特福山」を描いたものです。九年庵は、佐賀の大家屋敷、曾丹彦太郎が明治時代に建てた大邸宅と直線と、その美しい山景の名勝地を受けたことで、同族者が9年の歳月をかけて完成されたことから九年庵と呼ばれています。

1704-00-001
神埼市役所 ©GKPマエプロ

佐賀県 神埼市 のマンホールカバー

水車の里と城原川、九年庵ともみじ



仁比山郵便局

下を向いて歩こうII 伊東弘章

下を向いて歩こうⅡ

伊東 弘章

1年前、「下向いて歩こう・・・」を紹介した時点、まだマンホールになり切れていなかったが、以後、マンホールを目指して積極的にマンホール活動を開始。これも郵趣的なテーマとしての取り組みでカード収集はもちろんだが、カードに採用された市町村のマンホールを探し訪ねるなど。またマンホールに関連するご当地局の風景印の取集も…ということで、「下向いて歩こう」パートⅡとしてマンホールカード作品を紹介。

平成30年度、第7弾のカード配布開始は例年通りの4月1日かと、3月中頃から発表を心待ちに。

だが、4月に月が変わっても一向に発表の気配なし！ 月半ばになってようやく発表が…。なんと、G.W初日の4月28日（土）からとの発表あり。初導入となる或る自治体のHPを見ると、「ゴールデンウィークです。××市（町）ではマンホールカードが4月28日より配布となります。カード入手を兼ねて、当市（町）への訪問を心待ちしております」などと、今や自治体PRの観光パンフレットも兼ねたマンホールカードである。

1. 風景印とマンホールカードのマッチングベスト 3



風景印とマンホール蓋・カードが同一意匠デザインの南伊豆町（静岡）を昨年紹介しました。それに次ぐベストマッチングで、明石市（兵庫）が第7弾でマンホールカードを発行して風景印とマッチング。また神埼市（佐賀）の仁比山局は6月1日にマンホールカード



に合わせて風景印を改正した。これら3件は「半端ない！」ベストマッチングスリーです。

① 南伊豆町と下賀茂郵便局

※風景印改正とカード導入が同時期に進められたよう



だ。

② 明石市と明石子午線郵便局

※風景印が誕生した当時、マンホール蓋をデザインにした風景印ということで当時話題となった。

③ 神崎市と仁比山郵便局

※神崎市域の4局で吉野ヶ里公園の同意匠の風景印が使用されていたが、内、仁比山局はマンホールと同図案に意匠改正して6月1日から使用開始された。このようなマンホールをパクった風景印は嬉しい限りだ。今後も新たなマンホール風景印の登場を期待したい。

2. マンホール・切手・風景印の三つがマッチング 3点がマッチしたリーフの一部を紹介。

☆ 中城村 (沖縄) 世界遺産「中城城跡」

世界遺産『琉球王国のグスク・』切手に、石垣門をふくむ中城城跡、ハイビスカスの意匠の風景印でマッチング。

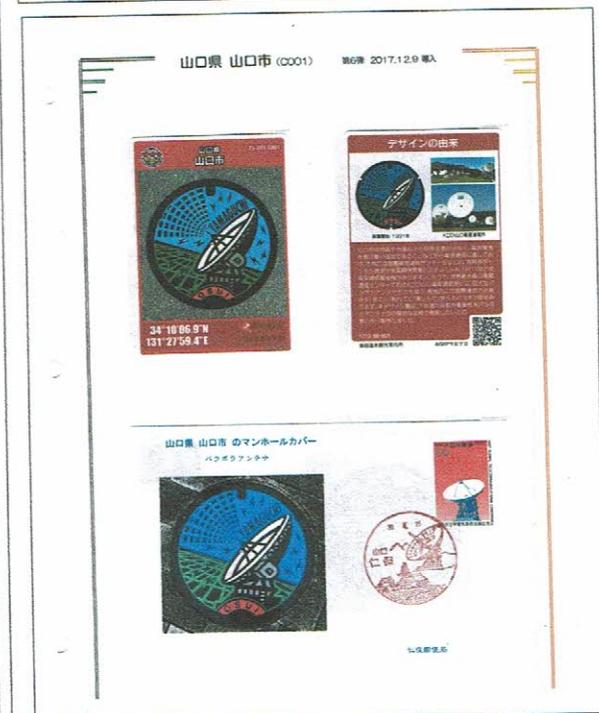
★北九州市 (福岡)

世界遺産「官営八幡製鉄所旧本事務所」小倉区日明浄化センターまで出向き、下水に関する約1時間のカルチャーを受ける。その後、受講に関するアンケートを記載して「ご苦労様でした」と、当カードを入手。簡単には入手できないプレミアムカードである。

☆山口市 (山口) パラポラアンテナ

KDDI山口衛星通信所が山口市仁保地区にあるが、カード配布場所は何故か湯田温泉観光所。

カード入手後、仁保局へ向かい(所要時間25分)、同日印にて記念カードを作成。



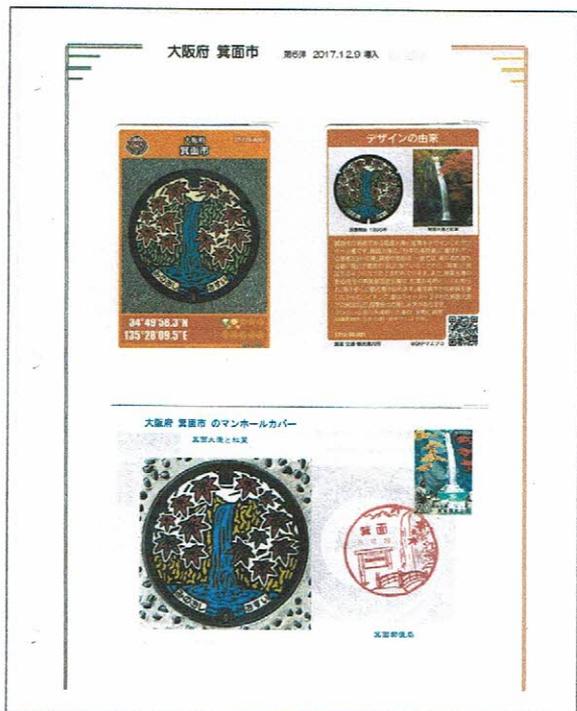
★ 箕面市 箕面の滝

箕面市在の後輩にご足労願って入手したカード。その後の大阪北地震、震源地に近い箕面市は震度6弱・・・、即、地震見舞で後輩へ連絡。幸いにも人的、家屋に被害なしとのことで一安心。

☆沼津市 世界遺産「富士山」

駿河湾から望む富士山をデザインしたマンホール。当カードは大澤会員にご足労願って入手したもの。風景





悪し。
 ☆ 寒河江市（山形） さくらんぼの里
 ふるさと切手第1号の「さくらんぼ」切手が台切手として役に立った。風景印も1957年から使用継続されている古い印である。

★ 芦別町（北海道） 星座
 町内には8つの星座（おとめ座・ふたご座・

印は富士山、松原、浜木綿の意匠でマンホールにマッチングしている。

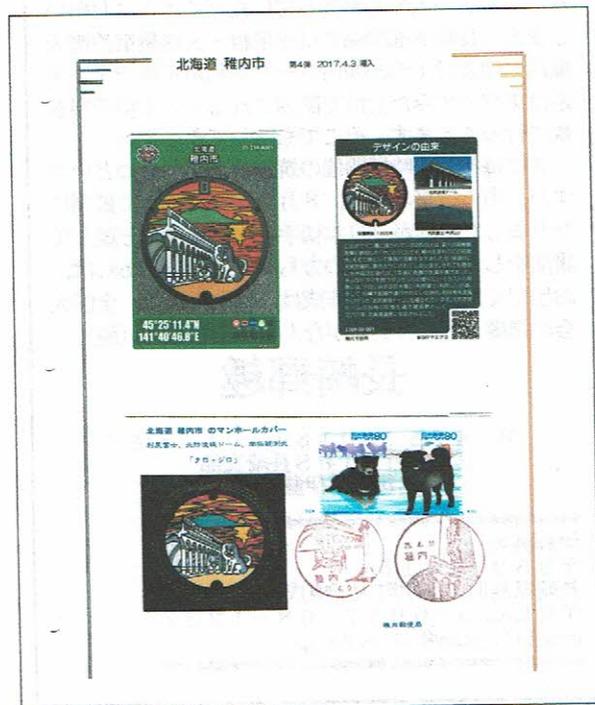
★ 吉見町（埼玉） 吉見百穴
 普通切手（1966～1976）埴輪と古墳時代の「吉見百穴」が意匠のマンホール。埴輪は、古墳時代を象徴したくデザインに取り入れたという。風景印にも吉見百穴が描かれているが押印



オリオン座・いて座・おおくま座・はくちょう座・さそり座)のマンホール蓋が設置されている。このうち“おおくま座”がカードに採用されている。

☆ 稚内市 (北海道) 防波堤ドームとタロ&ジロ, 利尻富士

平成25年4月, 風景印改廃時, 白カバーの予備



押印が役にたった。旧印にタロ&ジロの意匠あり。

3. 世界遺産のマンホールカード

世界遺産人気もあり, 遺産をマンホールにした自治体もあるが, 遺産登録以前からマンホール蓋のデザインとして活用されている蓋もあります。下記はマンホールカードになっている世界遺産。

- ①「法隆寺」 斑鳩町
- ②「姫路城」 姫路市
- ③「古都京都の文化財」 京都市
- ④「古都奈良の文化財」 奈良市
- ⑤「琉球王国のグスク」 中城村
- ⑥「富士山」 富士市・沼津市・焼津市・小田原市・小平市
- ⑦「富岡製糸場」 富岡市
- ⑧「明治日本の産業革命遺産」 北九州市・大牟田市

マンホールとして県内では老岐市, 九州では大分, 宮崎のカードが未入手, せめて九州内のカードは全種入手すべくトライしていこう・・・と。

また地元の長与町は来年(2019)「長与町町制施行50周年」を迎える。この記念事業の一つとして, マンホールカード発行とカラーマンホール蓋の敷設を・・・と, 長与町へ提案書を出しているが, 果たして実現は?

